



[果樹部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

5. 「水田転換畑におけるモモ安定生産のための園地診断フローチャート」の作成

[要約]

水田転換圃場においてモモの定植前に行う園地診断や、個々の圃場に対応した排水対策の要否を判定する「水田転換畑におけるモモ安定生産のための園地診断フローチャート」を作成した。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 環境研究室

[連絡先] 電話 086-955-0532

[分類] 技術

[背景・ねらい]

本県では水田を転換してモモ等の果樹を植栽することが増加しているが、こうした水田転換畑は排水性が不良な圃場もあり、モモ新植前の園地診断や排水対策を行うことが重要である。そこで、圃場周辺環境や土壌の状態からモモ導入の可否判定や合理的な排水対策を選択するためのフローチャートを作成する。

[成果の内容・特徴]

1. フローチャートでは、まず初めに圃場の立地条件や周辺環境を、次に圃場の排水路及び落水口から田面までの高さ及び暗きよの有無を、最後に土壌断面調査により地下部の排水性を判断材料とする。これにより、圃場の立地条件や地下部の排水不良要因を見極めた上で必要な対策を講じることができる（図1）。
2. フローチャートでは、白抜き四角は「確認項目」、六角は「判定基準」、灰色四角は「実施すべき対策」、白抜きの二重四角はフローチャートの結果を示す（図1）。
3. 土壌断面調査の項目を「硬さ」、「地下水位」、「グライ斑」、及び「土性」とし、各項目で判定基準を設定し、判定結果に応じた排水対策項目を示している（図1）。

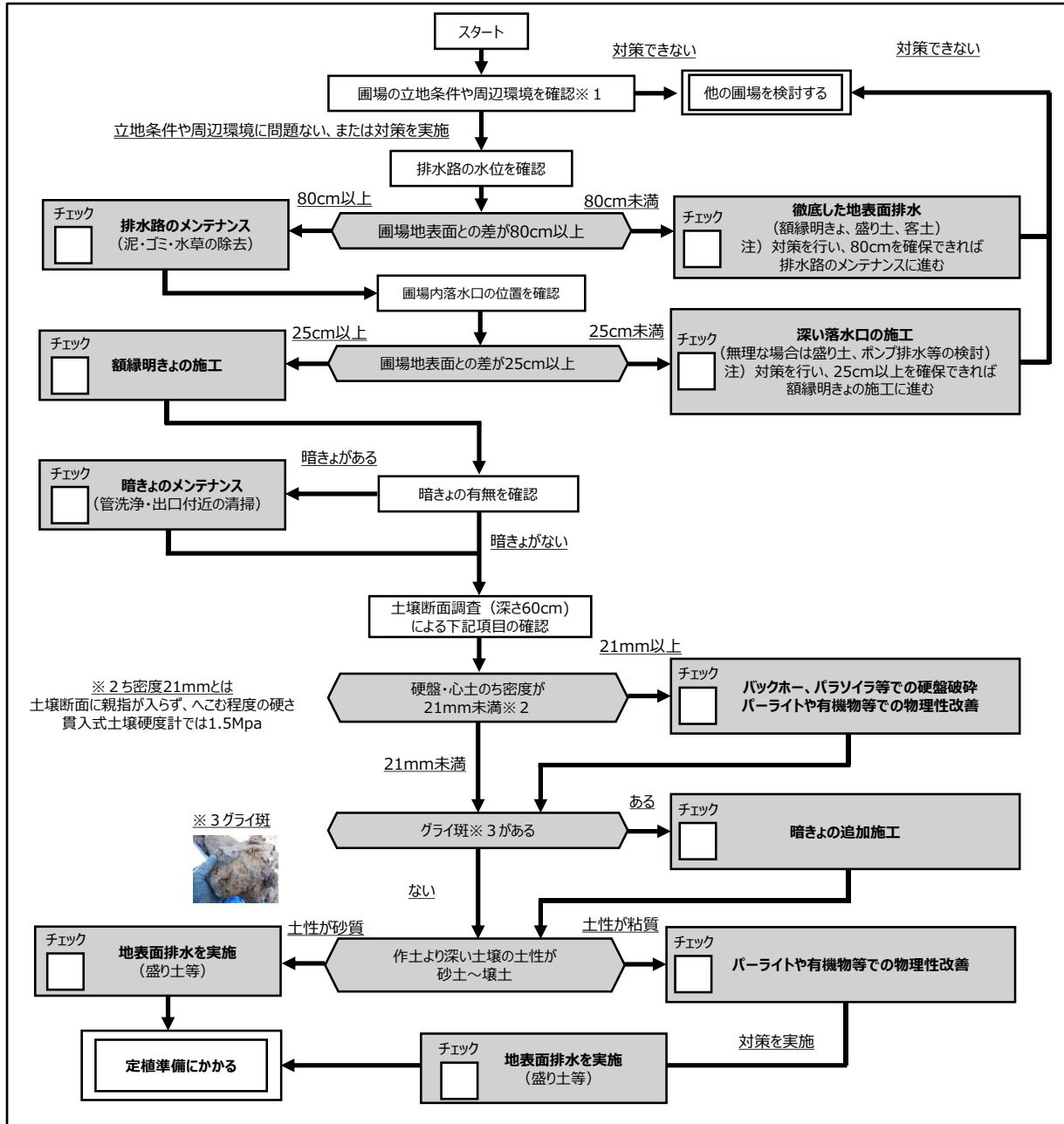
[成果の活用面・留意点]

1. フローチャートは令和4年～令和7年に行った水田転換園31園地の調査結果に基づき作成した。
2. フローチャートの診断項目は岡山県果樹栽培指針及び令和7年度主要成果「水田転換モモ園の排水性診断で重要な項目」を参考にした。
3. フローチャートは、農研HPに掲載し、以下のアドレスから入手できる。

<https://www.pref.okayama.jp/page/1044597.html>



[具体的データ]



※1 圃場の立地条件や周辺環境の違いによる排水状況と対策

立地条件・周辺環境	排水に関する状況	対 策
傾斜地水田	上段	水を自然に下方に排水できない
	下段	上段からの水が溜まる場合がある
平坦地で隣接田が水稻	周囲から水が浸入してくる	周囲の畔側に明きよ施工

※ただし、山に囲まれた谷地田では湧き水や伏流水、地下水に注意する

図1 園地診断及び排水対策を選択するためのフローチャート

[その他]

研究課題名：水田転換畑におけるモモ安定生産のための土壌改良マニュアルの作成

予算区分・研究期間：県単・令4～8年度

研究担当者：水田有亮、森次真一、大家理哉、寺地紘哉

関連情報等：1) 試験研究主要成果、[令7 \(13-14、17-18、19-20\)](#)